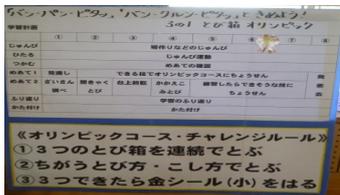


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	大牟田市立天領小学校 3年1組27名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	「踏み切り」「着手」「着地」のポイントに気を付けて、基本的な支持跳び越し技（開脚跳び、台上前転）をすることができる。また、グループや学級で金メダルを目指すという活動の設定を行うことで、運動に進んで取り組むことができる。
5 取組内容	<p>【事前学習：道徳「きっとできる」】</p> <p>道徳の学習「きっとできる」で、人と比べて目標を立てるのではなく、自分に合った目標に向かって努力することの大切さを学習し、跳び箱を跳べたという結果だけに目を向けるのではなく、自分に合った目標へ向かって努力ができるように、跳び箱運動への意欲を高める。</p> <p>【本時学習：体育科「器械運動 跳び箱運動」】</p> <p>○ つかむ段階</p> <p>掲示物や前時の振り返りを活用しながら、単元の計画の確認や自己の課題の確認を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><単元計画></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><動きのポイント></p> </div> </div> <p>○ 身につける・高める段階（めあて1）</p> <p>自己の能力に応じてコースを選んだり、跳び方・越し方を決めたりさせることを通して、できる技の技能を高めさせた。更に技能を身につけさせるために、自分の選んだコースを3つとも違う技で跳べた際に、大きなメダルの台紙に小さい金シールを貼らせるようにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

<跳び箱の場作り>

- ①リオコース（大縦3段、大横4段、大縦4段）
- ②天領コース（小縦4段、小横5段、小縦5段）
- ③東京コース（大縦4段、大横5段、大縦5段）

《オリンピックコースのチャレンジルール》

- ① 3つの跳び箱を連続で跳ぶ。
- ② それぞれ違う跳び方、越し方でクリアする。
- ③ 3つできたら金シール（小）を貼る。

○ 身につける・高める段階（めあて2）

自己の課題に応じた場で練習させたり、友達とアドバイスをし合ったりする活動を通して、練習したらできそうな基本の技を「踏み切り」「着手」「着地」のポイントに気を付けてできるようにする。



<アドバイスし合う>

○ 振り返り活動

学習ノートに振り返りを記入する時間を確保し、自他の頑張りや伸び、学び方、態度等のよさに着目して振り返りをした。



<振り返りを書く様子>

<全体での発表の様子>

6 主な成果

○ オリンピックの教材化

単元を通して、「金メダルを作る」活動を位置付けることで、誰にでも取り組みやすいオリンピック・パラリンピックの教材になると共に、「できるようになりたい。」「できて嬉しい。」という児童の意欲や自信も高めることができた。また場作りでは、3つのコースを作り（リオコース、天領コース、東京コース）、そのコースの名前にオリンピック・パラリンピックが開催された場所名前をつけることによって、オリンピック・パラリンピックに興味を持つと共に、自分が今どのコースで活動を行うのかが分かりやすかった。

○ 児童の様子から

金メダルを学級全員で作上げる活動を行うことで、オリンピックの精神である友情・連帯・フェアプレーを実感し、友達の成功を自分のことのように喜んだり、協力して教え合ったりする姿が見られた。

7実践において工夫した点（事業の特色）

単元名を「3の1 跳び箱 オリンピック」とし、単元を通して大きな金メダルを学級全員で完成させたり、各コースにオリンピック・パラリンピックに関係する名前をつけたりすることで、児童が主体的、意欲的に活動できるようにした。

8 主な課題等	課題別の学習だったこともあり、見取りが難しかったため、課題別に色の異なるリストバンドを着けたり、TT の指導体制をとったりするなど工夫が必要であった。また、自己の課題を意識し続けるために、活動の途中で創意工夫をしている児童をモデルとして取り上げ、全体で確認したり、考えさせたりすることが必要であった。
9 来年度以降の実施予定	本年度に開発したオリンピック教材を、3年生の年間指導計画に位置付け、今後の継続的・発展的な学習へとつなげていきたい。また、高学年の「器械運動」の学習へと系統性を持って進めていきたい。